



百貨店GI製品フェア 報告書

高島屋 横浜店 (横浜市)	2022年10月 19日～25日 (7日間)	13産品 13商品	B2 生鮮売場	<ul style="list-style-type: none"> ・高島屋横浜店WEB ・GISDのフェイスブック ・JGICWEB ・メルマガ等で 周知を行った。 	来客数約1.8万人 にチラシ、ポスター、POPで周知を行った。
藤崎 百貨店 (仙台市)	2022年11月 11日～13日 (3日間)	11産品 約30商品 弁当3品	屋外催事スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・地元新聞 ・テレビの情報番組 NHK、地元テレビ生放送 ・BUZZMAFF ・GISDのフェイスブック ・JGICWEB ・メルマガ等で 周知を行った。 	来客数約5万人 にチラシ、ポスター、POPで周知を行った。
博多阪急 (福岡市)	2023年1月 4日～17日 (14日間)	9産品 16商品	B1 イベント スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・博多阪急WEB等 ・GISDのフェイスブック ・JGICWEB ・メルマガ等で 周知を行った。 	来客数約90万人 にチラシ、ポスター、POPで周知を行った。
松坂屋 上野店 (東京都)	2023年1月 18日～24日 (7日間)	15産品 弁当惣菜 焼いも等 約30商品	B1 生鮮売場、 グロッサリー、イベントスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・松坂屋上野店WEB ・BUZZMAFF ・GISDのフェイスブック ・JGICWEB ・メルマガ等で 周知を行った。 	来客数約14万人 にチラシ、ポスター、POPで周知を行った。

百貨店GI産品フェア 結果のまとめ

目的：百貨店のお客様にGI産品を提案し、認知度・価値向上を図る。百貨店のお客様がGI産品の支持者であるという仮説にたち、初期段階として推進。

BtoCであるが、百貨店のマーチャンダイジングにおけるGI産品の位置づけを高めるBtoBもねらい。

<p>GIの認知度向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェア実施中に百貨店の多くのお客様に、GIについて、また、GI産品について提案し、説明し、認知度向上に寄与したものと想定される。 ・また、web、メディア、SNSなどによる情報発信、また、店頭においてポスター、パンフレット・レシピ、POP、マネキンなどにより、認知向上を図ることができた。 ・特に新聞、テレビなどの報道により、反響が大きかった。
<p>GI産品の販売結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GI産品の売上は、催事スペース、青果、水産物、畜産物、加工品のそれぞれの売場などの場所、ブランド力、旬などにより異なるが、一定の成果があった。 ・特に販売員（マネキン）による商品説明の有無により、かなり違いがあった。 ・今回、生産者・登録団体の参加が少なかったのが課題。 ・今回、GI産品を使用した弁当・惣菜の取り組みは、GI産品と百貨店や弁当製造業とのコラボで話題性があり、消費者の関心も高かった。さらなる連携や価値提案が期待される。
<p>GI産品フェアの方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェア企画内容と場所の問題がある。大きくは①催事場、②食品売場の催事スペース、③各カテゴリ別の食品売場であるが、規模や企画内容から、②と③が妥当ではないか。①の場合は、他とのコラボが必要。 ・百貨店には、毎月・毎週、多様なフェアが実施されており、GI産品の企画内容の他のフェアとの差別化・価値化の提案が重要。売上も重要。 ・今後、フェアは、売場の場所、実施時期、マネキンの投入もポイントになる。 ・この点は、百貨店のプロフェッショナルなマーチャンダイジングや販売力による企画提案を期待したい。 ・百貨店マネージャーのGI産品への認識が少しずつ、高まりつつあるので期待したい。
<p>百貨店のビジネスモデルとGI産品のサプライチェーン構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店のお客様は、SMやCVSとは異なる歴史伝統、希少価値、地域性、SDGsなどに優れた価値ある商品への支持があり、GI産品が期待される。 ・百貨店におけるGI産品は、既に多くの取り扱いがあるが、催事と食品カテゴリにより、サプライチェーン（商流・物流など）が異なる。 ・食品カテゴリ別売場は、既存のサプライチェーンを使用するため、これらの商流・物流に乗せられない産品もあり、また、GI産品が百貨店のMDの観点から、選別されることを理解する必要がある。 ・今後は、フェア開催に限らず、通常の売場でGI産品の販売の機会が重要になる。
<p>GI産品と百貨店の連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店の食品売場に陳列される商品は、包装、デザイン、コピー、売価、POPなど洗練されているが、GI産品はまだ未熟なものもあり、これら商品づくりが課題であり、百貨店の力が必要。ギフトやオンラインショッピングも。 ・今回、生産者・登録団体の参加が少なかった。自ら、消費者や需要者とコミュニケーションや販促の取り組みが課題。 ・生産者・登録団体は、需要者への直販という業務を行っていないケースも多く、また、フェア・イベント担当人員が少ないことが課題。

百貨店担当マネージャーの所感（4店舗）

<p>1.GI産品フェア開催の所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントスペースの一角にブースを設け、販売員による景品交換や声かけ、チラシの配布などGI産品という商品に対するお客様への認識は高まったのではないかを思われる。 ● 伝統ある産品の表示の保護とお客様へのPR活動は必要です。 ● GI産品フェアによる産品の販売はメディアからも取り上げられお客様の反響も高いと感じております。継続が重要と考えます。 ● 「GI産品」アイテムを買うことによってお客様が得られる付加価値が伝わりづらい。“GI産品”の認知度をあげることが最優先と思われる。
<p>2.GI産品の商品づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 加工品や原材料としての活用、また、運営会社の協力を得ることができれば、幅広く展開できるのではないかと感じた。 ● そもそも一次産品が多く、その希少性（産地外に出回らない）が評価の一つと考えます。フェアでは珍しいものがあるので評価されていると思う。 ● 農産物・加工品に限らず、お客様に覚えてもらいやすくするために、どこの「地域」のものかをより分かりやすくした方がよい。
<p>3.GI産品のフェアの企画コンセプト、実施方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のフェアで「GI産品」に対するお客様の認識は高まったと思われるが、継続的・定期的には実施しないと一時的なもので終わってしまうと感じている。 ● 前年度のGI産品フェア以降、POPおよびGIマークのロゴを産品とともに店内掲示しています。生鮮フロアにおける共通デザインとしてフェアの一体感醸成に寄与しました。 ● 農産物から加工品まで幅広く商品のお取り扱いがあるので、それぞれのニーズがある売場で分かれて販売しても良い。農産物は青果売場で、加工品はグロッサリー売場でなど。
<p>4.GI産品の認知度向上のための販促資材、PR情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● GI産品が何かを覚えていただくためには、まずはお客様に召し上がっていただき、美味しいものが「GI産品」だった、という流れができるようにしたい。このため、試食の実施や調理した商品の提供、調理事例の提供など、お客様が味を感じてもらえるような取組ができればと思います。 ● 制度趣旨を踏まえ、GIマークのロゴの活用を産品全般で取組むことです。同地域の他の紛らわしい商品との差別化にも有効と考えます。 ● インスタやツイッターなどといったSNSやスマホ広告といったデジタル媒体も百貨店では効果的です。百貨店の規模によって使い分けるべき。
<p>5.今後のGI産品フェアのご協力の意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回初めてフェアを実施したが、年末年始を挟んで準備をおこなったため、何とか実施にこぎつけた、という思いをもちしております。改めて夏、秋など、GI産品が多く出回る時期に開催させていただきたいです。 ● 来年度も継続して参りますのでご協力宜しく願いいたします。 GI産品の裾野をより広げていくには、GI産品の魅力的な商品開発や既存商品も含めた販売側と川上を繋ぐ諸機能の強化が必要です。その担い手の確保や経費感などを踏まえ中長期的に取組む必要性を感じます。 ● 地方都市の規模感では小さいと感じるので、認知度を上げるには大阪・東京での開催に注力した方がよいと思われる。

高島屋横浜店（横浜市）

GI産品フェア



- 10月19日（水）～25日（火）
- 地2階 Foodeis' Port1（生鲜）

「GI」は食品や農林水産省の名称を、知的財産として国に登録する制度です。各地域の伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などにより育まれた品質の高い産品のみが登録されています。

今回、横浜高島屋では生鲜売場にて登録産品をご用意し、専門の係員がご紹介します。

※登録産品に関する詳しい情報はこちらをご覧ください

「地理的表示産品情報発信サイト」 <https://gi-act.maff.go.jp/>

※品数に限りがございますので売切れの際はご容赦ください。

※写真はイメージです。



藤崎百貨店（仙台市）

歴史と風土に育まれた地域の宝が一堂に!

全国の登録GI産品
及加工品

GI産品フェア in 東北

11/11金 12土 13日

10:30~18:30 (開会式10:00~) 10:00~18:00 10:00~17:00

会場 藤崎サンモール
一番町側玄関前特設会場
仙南地区一番町三丁目2番17号

限定!オリジナルGI弁当/
特製GI弁当(宮城大学西川研究室との共同開発)
みやびサーモン弁当
くまもとあか牛ハンバーグ弁当

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION
日本地理的表示
GI

清水露ナンバ(青森県)
いぶりがっこ(秋田県)
三子ふとい柿(岩手県)
河北せり(宮城県)
甲子柿(岩手県)
山形ラフランス(山形県)
若狭小浜小鯛さき漬(福井県)
八代生薑(熊本県)
吉川ナス(福井県)
船沼栗(茨城県)

農林水産省 令和4年度補助事業「GI産品フェア」
企画：日本地理的表示協議会（一般社団法人食品情報研究センター）
共催：株式会社藤崎 協賛（運営）：株式会社結アソシエイツ

GI (Geographical Indication) とは：
地域で育まれた特産ある野菜、果物、食、加工品などを農林水産省が登録（9月現在119産品）、1900年初頭にヨーロッパで創設。現在、世界100ヵ国を超える国で知的財産として保護されています。



博多阪急（福岡市）

歴史と風土に育まれた地域の宝が一堂に！

全国の登録GI産品 & 加工品

GI産品フェア in九州

2023/1/4水 → 10火 10:00 ~ 20:00

会場 博多阪急 B1F 食品売場
フードイベントコーナー
福岡市博多区博多駅前1-1-1

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION
日本地理的表示
GI

GIとは [Geographical Indication]
地域で育まれた特色ある産品、農産物、加工品などを農林水産省が登録。2022年10月現在120産品、1900年歴史を誇る伝統的製法、また、世界100ヶ国で認められている制度として登録されています。

八代特産 湯玉地 (熊本県)
宮崎小かん (宮崎県)
宮崎牛 (宮崎県)
種子島産いちも (鹿児島県)
はかた地どり (福岡県)
くまもと産牛 (熊本県)
九州そば (福岡県)
大分かぼす (大分県)

農林水産省 令和4年度補助事業「GI産品フェア」
企画：日本地理的表示協議会（一般社団法人農産物総合研究センター）／協賛：株式会社フードプロジェクト製作所

歴史と風土に育まれた地域の宝が一堂に！

全国の登録GI産品 & 加工品

GI産品フェア in九州

2023/1/11水 → 17火 10:00 ~ 20:00

会場 博多阪急 B1F 食品売場
フードイベントコーナー
福岡市博多区博多駅前1-1-1

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION
日本地理的表示
GI

GIとは [Geographical Indication]
地域で育まれた特色ある産品、農産物、加工品などを農林水産省が登録。2022年10月現在120産品、1900年歴史を誇る伝統的製法、また、世界100ヶ国で認められている制度として登録されています。

清水善ナンパ (青森県)
いぶりがっこ (秋田県)
紀伊金山寺味噌 (和歌山県)
黒蜜漬りんご (石川県)
あまご (福岡県)
あまご (福岡県)
あまご (福岡県)
あまご (福岡県)

農林水産省 令和4年度補助事業「GI産品フェア」
企画：日本地理的表示協議会（一般社団法人農産物総合研究センター）／協賛：株式会社フードプロジェクト製作所



松坂屋上野店 (東京都)

歴史と風土に育まれた地域の宝が一堂に!

全国の登録GI産品 & 加工品

GI産品フェア in 上野

2023 1/18水 → 24火 10:00~20:00

会場 | 松坂屋上野店 地下1階 ほっぺタウン

GIとは【Geographical Indication】
地域で育まれた特徴ある野菜、果物、魚、加工品などを農林水産省が登録。(2022年10月現在120産品)1900年初頭にヨーロッパで創設。現在、世界100か国を超える国で知的財産として保護されています。

写真等はイメージです

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION 日本地理的表示 GI

十三湖産 大和しじみ (青森県) | 清水森ナンバ (青森県) | いぶりがっこ (秋田県) | 三輪素麺 (奈良県) | 三輪小麦 (奈良県)

高池水田ごぼう (熊本県) | 富山千柿 (富山県) | 今金男レク (北海道) | くまもと塩トマト (熊本県) | 鹿児島産の香満り黒酢 (鹿児島県) | 八代特産産白柚 (熊本県) | 若狭小浜 小鯛さき漬 (福井県) | 市田柿 (長野県)

農林水産省 令和4年度補助事業「GI産品フェア」
企画：日本地理的表示協議会(一般社団法人食品情報研究センター)

期間中にこちらのチラシをご持参の方、先着で平日100名様・土日各150名様にGI登録産品(市田柿)1個をプレゼント!詳しくは裏面をご覧ください。

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION 日本地理的表示 GI

GI産品フェア in 上野

松坂屋上野店 地下1階 ほっぺタウン
2023 1/18水 → 24火 10:00~20:00

GI産品フェア 特設会場 | 対象商品 取扱い売場

A ほっぺタウン催事場

種子島安納いもコーナー
おっとり食感が特徴の種子島安納いもの原産芋をはじめ、ザップス・甘納豆・うらかんのなどの加工品を販売いたします。

【マルタク】お漬物
いぶりがっこをはじめ、日本各地の漬物をご用意いたします。

B 地下鉄連絡口イベントスペース

期間中、希少な「堂上峰屋柿」を数量限定販売!
堂上峰屋柿(岐阜県)「実」3個入 270g 6,441円(税込)
古来、朝廷や幕府への献上品とされた千年以上の歴史を持つ、たいへん希少な干し柿です。当フェア期間中のみ、毎日数量限定5箱で販売いたします。この、またとない機会にぜひご賞味ください。

清水森ナンバ(青森県)
一味唐辛子 細粉 20g 500円(税込)
一味唐辛子 粗粉 20g 500円(税込)
その他にも、GI産品がいろいろ揃う販売会を実施!

期間中、当チラシをご持参で800名様にGI登録産品(市田柿)1個プレゼント!
期間中にこちらのチラシをご持参の方、先着で平日100名様・土日各150名様、合計800名様にGI登録産品(市田柿)1個をプレゼントいたします。

Matsuzakaya 松坂屋上野店

